

ぎふ技術革新センター運営協議会入会申込書

令和 年 月 日

貴会に 正会員 ・ 賛助会員 ・ 準会員 として入会したいので、申し込みます。

1. 事業所名

2. 業種(産業中分類区分)

3. 主要製品

4. 事業所所在地

〒 _____

5. 代表者 職・氏名(代表者印)

_____ 印

6. 申込口数(準会員は記入不要)

_____ □

7. 機関名称の公開について

当協議会では会員の機関名称を原則公開しております。下記のチェック欄に記入してください。

☐ 公開 ☐ 会員のみ公開 ☐ その他 (_____)

8. 協議会連絡担当者

氏名 _____ 役職 _____

TEL _____ FAX _____

E-mail _____

入会を希望される方は、申込書に必要事項を記載し、押印の上、事務局まで郵送ください。

事務手続きの関係上、事前にメールやファックス等で申込書の写しを送付いただきますと幸いです。

本申込書は、下記のホームページからもダウンロードできます。

http://www.gitec.rd.pref.gifu.jp/html/innovation_conference_join.php

ぎふ技術革新センター運営協議会事務局

〒501-3265 岐阜県関市小瀬1288

岐阜県産業技術総合センター 産学連携部

TEL：0575-22-0147 FAX：0575-24-6976

E-mail：tic-g@rd.pref.gifu.jp



ぎふ技術革新センター運営協議会のご案内



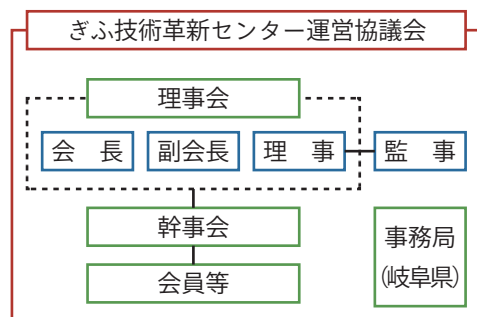
ぎふ技術革新センター
Technological innovation Center Gifu

運営協議会

ごあいさつ



概要



このたび、ぎふ技術革新センター運営協議会の会長を務めさせていただくことになりました須藤でございます。歴代会長の皆さまが築いてこられた歩みを引き継ぎながら、地域の皆さまとともに新たな一歩を進めていければと考えております。どうぞよろしくお願い申し上げます。



近年、社会や経済を取り巻く環境は、国内外を問わず大きな変化にさらされています。技術革新のスピードは一段と増し、産業構造の転換や価値観の変容が同時に進む中で、企業や研究機関にはこれまで以上に柔軟かつ持続的な対応が求められております。こうした状況は不確実性を伴う一方で、新たな挑戦や創造の機会をもたらすものでもあります。

この地域には、長年にわたりモノづくりを支えてきた優れた技術やノウハウが蓄積されております。航空宇宙、次世代自動車、医療機器、環境関連分野など、成長が期待される領域においても、地域企業の強みを生かした展開が進んでおり、産業の高度化・多様化に向けた取り組みが着実に広がっています。

ぎふ技術革新センターは、産学官が連携しながら技術開発や人材育成を進めるための拠点として整備され、当協議会はその中心的な役割を担ってまいりました。炭素繊維複合材料をはじめとする軽量化技術、医療機器関連技術、環境調和型技術、機械金属分野の高度化など、各研究会での取り組みからは、特許化や外部資金の獲得、さらには製品化へとつながる成果も生まれています。また、会員の皆さま同士の交流から、新しい協働の芽が育っていることも心強い限りです。

これからも、技術革新の流れをしっかりと捉えながら、地域産業が持続的に発展していけるよう、協議会としてできることを一つひとつ積み重ねていきたいと考えております。会員の皆さまのお声を大切にし、産学官がより自然に連携できる環境づくりを進め、先端的なものづくりを支える存在であり続けたいと思っております。

今後とも、皆さまの温かいご支援とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

令和8年4月

ぎふ技術革新センター運営協議会長 須藤 政隆
(川崎重工業株式会社)
専務執行役員 航空宇宙システムカンパニープレジデント)

【名称】

ぎふ技術革新センター運営協議会

【設立年月日】

平成23年3月14日

【協議会の目的】

ぎふ技術革新センターにおける産学官連携活動の活性化を目的とし、共同研究助成を始めとする各種助成や人材育成、研究交流などの事業を主体となつて実施し、ぎふ技術革新センターにおける革新的な技術開発を積極的に促進し、ひいては地域産業の発展に貢献する。

【事業の内容】

- (1) 技術開発の推進と技術の向上を図るための共同研究助成事業
- (2) 会員企業等の人材育成を図るための若手機器利用助成事業
- (3) 産学官による積極的な研究交流事業
- (4) その他、地域産学官連携ならびに地域産業振興を促進するために必要な事業

【組織】

- 役員：会長（1名）、副会長（2名）、理事（10名程度）、監事（2名）
※役員は、特別会員及び正会員の内から互選
- 会員等：特別会員、正会員、賛助会員、準会員、オブザーバー
- 事務局：岐阜県



主な実施事業

＜基本方針＞

地域企業の航空機・輸送機器用軽量強化部材や環境調和型製品、高度医療機器、機械金属等の成長分野への展開を図り、産業構造の多様化・高度化を目指す地域産学官共同研究拠点「ぎふ技術革新センター」において、産学官連携活動を活性化するための各種事業を実施する。

【共同研究助成事業】

「ぎふ技術革新センター」を活用し、新技術・新製品開発等の共同研究を行うグループに研究費を助成
助成期間：最大2年間 助成額：初年度目 最高300万円、2年度目 初年度交付額の3分の2を上限

【若手およびシニア機器利用助成事業】

拠点設備を利用して研究開発に取り組む40歳以下の若手研究員と60歳以上のシニア研究員に対し、機器利用に係る助成金を交付（経費の1/2、上限15万円）

【研究交流事業】

各種セミナー、機器利用講習会、ミニワーキンググループ事業（上限30万円）、見学会等を通じ、人的ネットワークの形成を支援

会員等及び年会費

会員等

区分	会員等の位置付け
特別会員	協議会の運営に責任を持ち、中核構成員として運営費を負担する企業、大学および岐阜県
正会員	協議会の主旨に賛同し、協議会の活動を推進するため入会した企業、大学等
賛助会員	協議会の主旨に賛同し、協議会の活動を賛助・後援するため入会した産業団体、経済団体、銀行等
準会員	拠点の活用を通じて、将来正会員になっていただける企業等
オブザーバー	国、関係地方公共団体、独立行政法人科学技術振興機構等

年会費

イ 年会費	正会員	一口	100,000円
	賛助会員	一口	30,000円
	準会員		無 料

※特別会員は、負担金として運営費を負担頂きます。

ロ 既納の年会費は、返還しません。

※協議会における議決権の行使や各種助成事業への申請には、特別会員または正会員である必要があります。

技術セミナー

成長産業分野の技術動向

【最近の実施内容】

- 2014.10 自動車・航空機分野における CFRP 部品の量産・自動化
- 2015.02 プラスチックと CFRP の生産技術の現状と展望
- 2015.09 自動車分野における熱可塑性複合材料の適用と海外の技術動向
- 2016.02 航空機・自動車から産業分野における CFRP の最近の適用

ミニワーキング

【事業の概要】

1 グループ 30 万円を上限に産学官連携活動を支援します。
整備機器の勉強会、競争的資金獲得のための基礎データの収集など様々な活動に活用できます。また、ワーキンググループが企画する「公開講演会」も開催しています。